

プレジャーボートの事故をなくしたい

＜常滑市と津市で海上保安庁・中部小型船安全協会と海難防止講習会を開催＞

東海総合通信局(局長 吉武 久)は、船舶事故の多くを占めるプレジャーボートの事故防止を図るため、第四管区海上保安本部(本部長 勢良 俊也)及び公益社団法人中部小型船安全協会(会長 小栗 一郎)とともに、愛知県常滑市及び三重県津市において、海難防止講習会を開催しました。

当局は海難防止のための無線設備であるAIS(自動船舶識別装置)、国際VHF無線(船舶共通通信システム)及びPLB(携帯用位置指示無線標識)の機能やメリット、使用方法等を説明するとともに、参加者から個別に申請手続きに関する相談を受けました。

無線機器メーカー4社の協力を得て、これらの機器の展示とデモも行われ、機器を手にした参加者がメーカーの社員に熱心に質問する場面も見られました。

NPTマリーナりんくう(愛知県常滑市) 令和元年9月16日(月・祝)

マリーナ利用者・スタッフ23名参加。海上保安庁は、事故発生時の救護に使用するAEDや心臓マッサージの講習を実施。

津ヨットハーバー(三重県津市) 令和元年11月2日(土)

ヨットハーバー利用者23名参加。海上保安庁は、救命胴衣・信号紅炎の取扱い、小型船の曳航方法についての講習を実施。

○AIS(自動船舶識別装置)

船舶の送信機から自動で発信される船名、位置、針路、速力等のデータを受信し、電子海図やレーダー画面に表示することで船舶の衝突事故を防止。

○国際VHF(船舶共通通信システム)

船舶の大きさや用途等に関わらず、全ての船舶で共通に通信できるシステム。

○PLB(携帯用位置表示無線標識)

海上で遭難した時に人工衛星を経由して海上保安庁に位置情報などを通報。小型軽量(携帯電話程度の大きさ)でウインドサーフィンやシーカヤックをするときにもライフベストに装着して利用。



チャートに船舶の動きを表示するAISのデモを見る参加者(常滑市)



各メーカーが無線機器を展示・デモ(常滑市)



当局から海難防止のための無線設備について説明(津市)



AISのデモ画面(津市)

お問い合わせ先: 無線通信部航空海上課 052-971-9195